

長佐古杯争奪

第42回ジュニアチャンピオン大会 Bulletin3(プログラム)

期日 2025年4月20日(日) 雨天決行・荒天中止
場所 埼玉県飯能市・東京都青梅市
会場 あいわ広場(飯能市阿須211)



主催 多摩オリエンテーリングクラブ
後援 東京都オリエンテーリング協会
協賛 OLG奥武蔵野(小笠原揚太郎氏)
O-Ajari(田島利佳氏)
O-Support(小泉成行氏)
KATANA Adventure(中田博喜氏)
協力 青梅レクリエーション研究会

大会ホームページ <http://www.orienteeing.com/~tama/jc/jc42/index.html>

タイムテーブル

8:30	会場オープン
8:45	受付開始
10:00	トップスタート
12:30	スタート閉鎖
12:15	新歓クラススタート開始
13:45	新歓クラススタート閉鎖
13:30頃	表彰式
15:00	フィニッシュ閉鎖
16:00	会場閉鎖(行事終了次第)

目次

ご挨拶	p.2
交通案内	p.2
会場案内	p.4
競技に関する情報	p.5
競技の流れ	p.8
緊急対応事項	p.11
長佐古杯について	p.11
歴代チャンピオン一覧	p.12
競技に関する一般的な注意事項	p.13

ご挨拶

大会実行委員長 平木 達也

ジュニアチャンピオン大会に参加申いただき誠にありがとうございます。今大会は歴史ある大規模トレイン「七国峠」のリメイクプロジェクト第1弾のお披露目大会となります。

私たち多摩オリエンテーリングクラブでは、50年を超えるクラブの歴史の中で「七国峠」の地図調査を絶えず行ってきましたが、複雑な地形を表そうとするなかで一部にひずみ（地図と現地のずれ）も生じておりました。こうした中、近年国土地理院基盤地図情報や、2023年には東京都デジタルツイン実現プロジェクトで多摩地域点群データが公開され、高精度原図を基に「七国峠」を作り直す機運が高まりました。しかし、クラブ内では手に負えないほど広範囲であることから、プロマッパーの宮西優太郎氏のご協力のもと、リメイクプロジェクトを推進してまいりました。

冒頭で「第1弾」と申しましたが、今年は埼玉・飯能側を会場として、コースをご用意しました。もちろん「第2弾」も計画しておりますので、ご期待くださりつつ、まずは今大会を楽しんでいただければ幸いです。

最後に、今回も地元の皆様や協賛の皆様の多大なるご理解・ご協力をいただいております。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

交通案内

西武池袋線「元加治」駅から徒歩の場合

約1.3km、徒歩約20分、テープ誘導はありません。下記の図のオレンジで示したルートでお越しください。道路横断時は信号を守ってください。車には充分気を付けてください。



自家用車、オートバイ、自転車利用の場合

- 会場のあいわ広場内に駐車場を設けます。次ページの図を参考にお越しください。通行量が多いので、あいわ広場への右折入場を避けるためご協力をお願いします。また、八高線のガード下（阿須ガード）が拡幅工事のため通行止めとなっておりますので、ご注意ください。

- あいわ広場の入口で役員の指示に従い、奥から詰めて駐めていただきますようご協力をお願いします。大会ホームページに駐車券を掲載しましたので印刷し、ダッシュボードに掲示してください。
- 会場の駐車スペースが満車になった場合、役員の指示に従い近隣の第二駐車場に駐車してください。第二駐車場から会場までは230m徒歩3分です。できるだけ相乗りで台数を減らすようご協力をお願いします。

■会場（第一駐車場）へのアクセス図



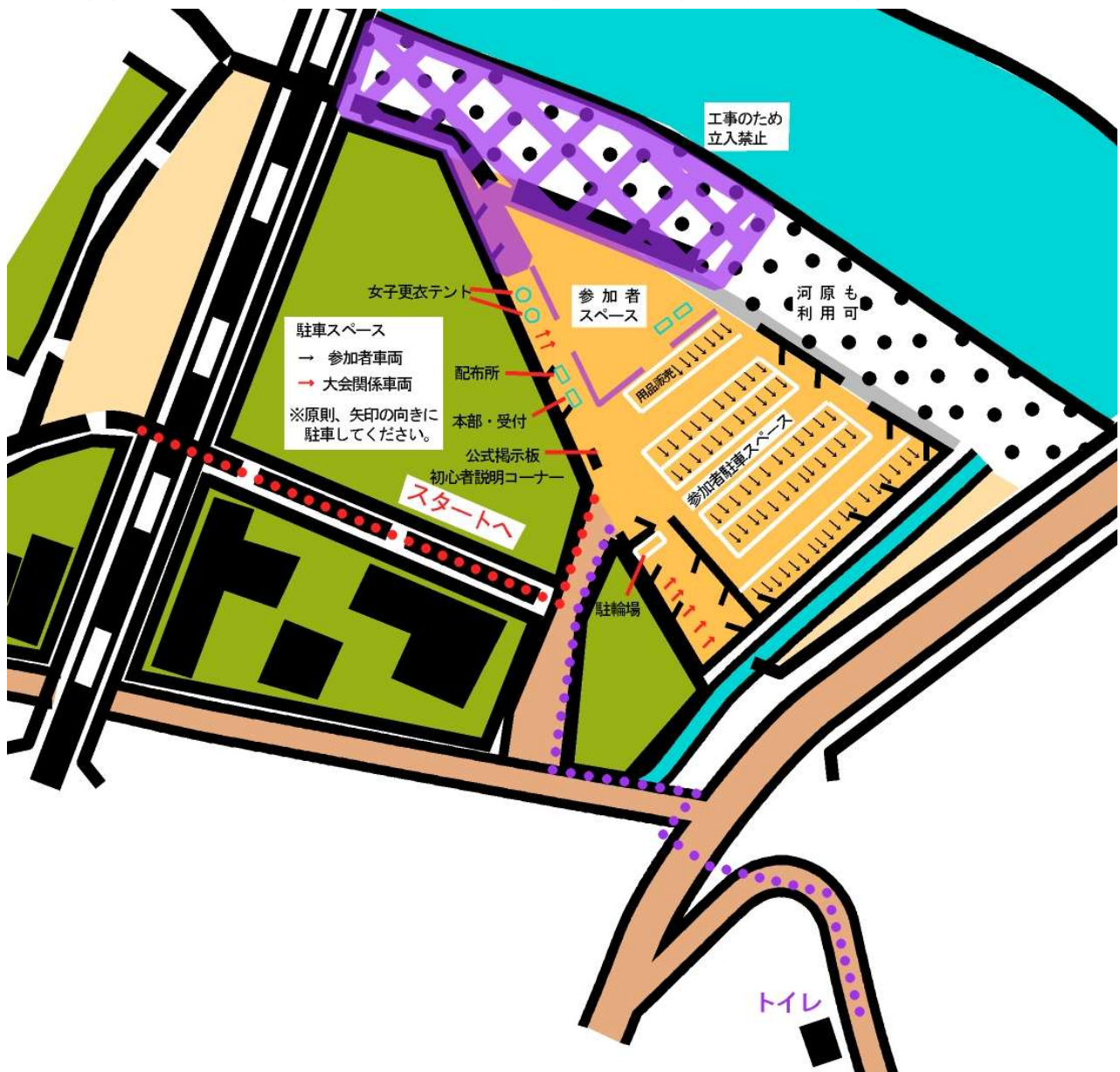
■会場・第二駐車場関係図



会場案内

会場レイアウト

- 会場内の配置については会場レイアウト（下図）をご覧ください。レイアウトは、天候等により若干変更になる場合があります。駐車場兼会場であり、入口が1つしかありませんので、車と歩行者が交差するところでは、注意してください。
- 青空会場です。テントを立てますが、雨天の際は十分ではありませんので公共交通機関での来場者を優先してください。車での来場者は車内での着替え・待機をお願いします。
- 会場内の一部および河原で工事のための立入禁止区域があります。立ち入らないようにしてください。
- 会場内にはトイレはありません（工事のための仮設トイレがありますが使えません）。できるだけ駅やコンビニで済ませて来るようにお願いします。近くに阿須運動公園の公衆トイレがありますが、数は男性用（大1、小3）、女性用3です。公園利用者の迷惑にならないようマナーを守ってください。 ※数は限られますがスタートまでの誘導地図に示す「E-カード読取所」の建物のトイレを使うこともできます（土足厳禁）。
- 会場に公式掲示板が設けてあります。重要な競技情報、プログラム発行後の変更事項など大切な情報を随時掲示しますのでスタート前に必ずご覧ください。
- ごみは各自自宅までお持ち帰りください。地域のごみ箱や駅など帰宅途中の投棄は絶対にしないでください。



受付（事前申込者）

- 受付後、本部横の配布所にて、ナンバーカード、E-カード（レンタルの場合）、誘導地図等の入った袋をご自身でピックアップしてください。クラス別、出走時刻順に箱に入れてあります。
- 申込に不備のあった方には「お知らせ」の紙を入れてあります。「お知らせ」を持参の上、本部までお越しください。
- 配布所では、ご自身のものだけをお持ちください。残った袋を欠席確認に使うことがありますので、欠席者の袋は持って行かないようにお願いします。
- ご自分の E-カードを忘れた場合、E-カードに不具合があった場合は、ナンバーカードを持参のうえ本部へお越しください。E-カードレンタル料 300 円が必要です。
- 本大会では代走はできません。無断代走は厳禁とします。
- 若干の貸出用コンパスを用意します。競技終了後本部に返却してください。保証金は不要ですが、紛失・破損した場合は弁償金として3,000円をいただきます。
- レンタル E-カード を紛失・破損した場合は実費を頂きます。高価なものなので、紛失しないようご注意ください。簡便な E-カード紛失防止器具を用意しており、希望者には無償で貸し出します。本部までお越しください。

新歓用クラス申込者の受付

- 本部で代表者が参加費をお支払いください。E-カードとナンバーカード、メンバー表（提出用）、誘導地図をお渡しします。
- 受付は、11時までにはお願いします。

直前申込クラス・市民クラス（当日）申込者の受付

- 本部で参加費をお支払いください。E-カード、ナンバーカード等をお渡しします。参加費は市民クラス1,000円、OAクラス・OBクラス4,500円、ONクラス2,300円です。E-カードをレンタルする場合、+300円を頂きます。
- 直前申込クラスの参加には、**事前予約**が必要です。
事前予約方法：tamajc@googlegroups.com 宛にメールで下記の情報をお送りください。
希望クラス・氏名・ふりがな・性別・年齢・生年月日・所属クラブ・住所・連絡先電話番号・
E-カードレンタルの有無（マイカードの場合はカード番号）
受付けましたら当方より確認メールを返信いたします。
4月16日（水）21時必着でお送りください。

初心者説明

- 会場内にオリエンテーリング経験が浅い方を対象とした初心者説明コーナーを設けます。地図や競技方法の説明を致しますので、コンパスとE-カードを持参の上お越しください。

競技に関する情報

競技形式

- 個人のポイントオリエンテーリング（ミドル～ロングディスタンス競技）
- 日本オリエンテーリング協会の定める「日本オリエンテーリング競技規則」に準拠
- 計時方式は全クラス、EMIT社の電子パンチングシステム（E-カード）を使用

地 図

●使用地図 「七国峠2025」

東京都側：東京都デジタルツイン実現プロジェクト多摩地域点群データ

埼玉県側：国土地理院基盤地図情報を利用

調査作図：宮西山野精図、多摩オリエンテーリングクラブ

調査期間：2023年11月～2025年3月

●縮尺 1:10,000または1:7,500 コース情報一覧をご参照ください。

●等高線間隔 5m

●国際オリエンテーリング地図図式（ISOM2017-2）に準拠

●ビニール袋封入済み（PE製 0.08mm厚）

●会場内に11時まで旧マップを掲示します。会場内に過去の「七国峠」の地図を持ち込むことを禁止します。

●特殊な地図の記号



コース情報一覧

カテゴリ	男子	距離 (km)	登距離 (m)	優勝設定 (分)	縮尺	地図サイズ	女子	距離 (km)	登距離 (m)	優勝設定 (分)	縮尺	地図サイズ
ジュニア	JME	4.6	390	50	1:10,000	B4横	JWE	3.1	200	45	1:10,000	A4横
	M18	3.5	250	40	1:10,000	A4横	W18	2.4	190	40	1:10,000	A4横
	M18N						W18N	2.7	110	30	1:10,000	B4横
	M15	2.9	170	30	1:10,000	A4横	W15	2.7	110	30	1:10,000	A4横
	M15N	2.7	110	30	1:10,000	B4横	W15N	2.7	110	30	1:10,000	B4横
	M12	2.7	110	30	1:10,000	A4横	W12	2.7	110	30	1:10,000	A4横
	M10						W10	2.7	110	30	1:10,000	B4横
一般	M21A1	5.7	460	50	1:10,000	B4横	W21A	4.5	360	50	1:10,000	B4横
	M21A2	5.7	440	50								
	M21AS	4.5	360	50	1:10,000	B4横	W21AS					
	M35A	4.5	360	50	1:10,000	B4横	W35A	3.8	320	45	1:10,000	A4横
	M50A	3.8	320	40	1:10,000	A4横	W50A	3.0	190	50	1:7,500	B4横
	M65A	3.0	190	40	1:7,500	B4横	W65A	2.4	120	40	1:7,500	B4横
	M75A	2.4	120	40	1:7,500	B4横	W75A	2.4	120	50	1:7,500	B4横
	M85A	1.3	80	35	1:7,500	B4横	W85A					
	MB	2.9	170	30	1:10,000	A4横	WB	2.9	170	40	1:10,000	A4横
	MN	2.7	110	30	1:10,000	B4横	WN	2.7	110	30	1:10,000	B4横
グループ	GN	2.7	110	30	1:10,000	B4横	難易度:初級					
直前申込	OA	4.5	360	50	1:10,000	B4横	難易度:上級					
	OB	2.9	170	40	1:10,000	A4横	難易度:中級					
	ON	2.7	110	30	1:10,000	B4横	難易度:初級					
	CN	2.7	110	30	1:10,000	B4横	難易度:初級、飯能・青梅市民向け					
新歓	shinkan	3.1	105	30	1:10,000	A4縦	難易度:初級					

・M21Aクラスは申込多数により分割しました。

・優勝設定時間など競技に関する情報に変更がある場合、当日公式掲示板にて周知します。

コントロール位置説明

●ISCD 2018（<https://www.orienteering.or.jp/archive/rule/ISCD2018-J.pdf>）に準拠。ただし、すべてのN（初心者）クラス、M10/W10各クラスは日本語を併記してあります。

- コントロール位置説明表はスタート地区で配布します。最大寸法は、約70mm×150mm（すべてのNクラス、M10,W10クラスは約130mm×115mm）です。コントロール位置説明は地図上にも印刷されています。

最大競技時間

- 競技者の安全のため、競技時間は最大で150分（2時間半）とします。**150分を超えた場合失格となります。**失格者の順位は付きません。
- スタート後150分以内にフィニッシュを通過できるよう、タイムオーバーが予想される場合は競技の途中であっても速やかにフィニッシュに向かってください。
- 新歓クラスの競技時間は75分です。

給水

- スタート地区に給水所を設けます。トレイン内には給水所を2か所設けますが、すべてのクラスのルート上で給水所を通過するとは限らず、クラスによって地図に表示される給水所の箇所数は異なります。暑さも予想されますので、十分給水してからスタートに向かってください。

競技規則逸脱事項

- スタート間隔 ロングのEクラスは最小で2分と規定されていますが異なるクラスもあります。

服装と用具に関する注意

- 今大会はナンバーカードを使用します（胸に1枚）。4本の安全ピンでしっかりと胸に固定してください。1本や2本のピンでの取り付けはご遠慮ください。また一番外側の競技用ウェアに装着し、競技中はいつでも外からよく見えるようにしてください。**各自で安全ピン等を4本以上ご準備ください。**忘れた方は会場内本部脇に予備がありますので各自でお持ちください。
- 金属ピンの付いた靴の使用は差し支えありません。
- 4月に入り阿須地区でクマのような動物の目撃情報がありました。**熊鈴の携行を推奨します。**
- 服装について特に制約はありませんが、肌の露出しない長袖長ズボン、濡れても冷えない合成繊維のシャツなどを推奨します。

トレインおよびコースプロフィール

東京近郊では数少ない本格的な里山トレインで、東西に伸びる大きな尾根・沢は、枝尾根・沢が複雑に入り組んでおり、尾根線・沢線には小道が多く発達しています。急峻な斜面は滑りやすく、雨天時には特に注意が必要です。

コースは細かい地図読みを必要とする部分と、斜面を登り下りする体力を必要とする部分が組み合わさっており、特に上級の距離が長いコースはタフな設定になっています。

- トレイン内の太陽光発電施設およびその柵の縁、隣接する造成地、サッカーグラウンドは通行・立入禁止です。なお、地図で「開けた土地」（オレンジ）表記の道は通行できます。



- テレイン内には、車両の通行禁止やゴミ投棄の防止のために「立入禁止」の看板や柵が設置されている場所があります。競技者は、通行できます。看板や柵をよけて通行してください。※地図には柵等は表示されていません。



競技上の注意事項

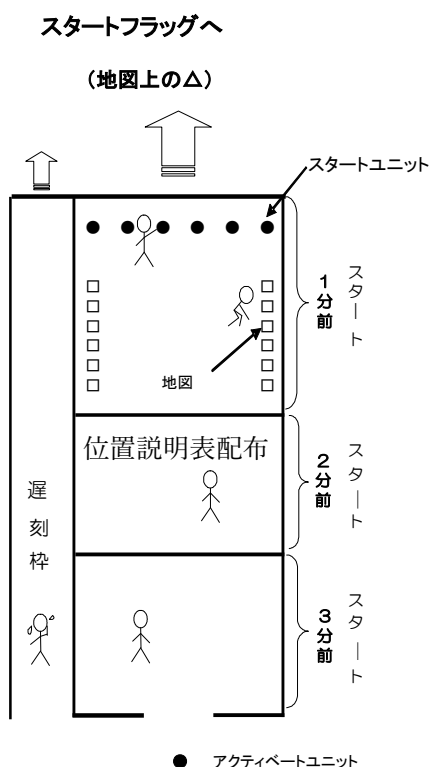
- 途中で棄権する場合も、必ずE-カードをなんらかの方法でフィニッシュまたは本部へ提出してください。絶対に無断で帰宅しないでください。無断で帰宅すると行方不明者として捜索の対象となります。
- 他人のE-カードが落ちていても拾わないで、目立つようにしておいてください。
- 救護が必要な場合は会場に対応します。
- テレイン内には立入禁止のエリアがあります。地図上ではパープルのクロスハッチで表記してあります。現地はテープで囲まれていません。立入禁止区域には立ち入らないでください。民家の敷地、耕作地も立入禁止です。立ち入りが判明した競技者は失格とします。
- テレイン内には一般のハイカーやマウンテンバイクの愛好家がいらっしゃいます。接触には十分気を付けてください。
- テレイン内には黒黄色ロープ（トラロープ）が張ってある箇所がありますが、これはオートバイ等の進入防止の為で、本大会の参加者の通行（通過）を妨げるものではありません。
- 会場からスタートへの往路、フィニッシュからの帰路に、交通量の多い道路を通行します。歩道がある場所では必ず歩道を通行し、車両に十分注意してください。住宅街では、道幅が狭いので、横に広がらないようにしてください。
- 傷病者の救助はすべてに優先されます。
- ウインドブレーカー等の輸送サービスはありません。
- 4月に入り阿須地区でクマのような動物の目撃情報がありましたので、万一クマに遭遇した場合は、落ち着いて距離を保ち、ゆっくりと後退してください。慌てて逃げたり、騒いだりするとクマを興奮させて攻撃性を高める可能性があります。
- 何らかのトラブルがあった場合は速やかに巡回中の役員、スタート・フィニッシュ・会場などの役員にお知らせください。

競技の流れ

スタートへ

- ナンバーカードの装着、E-カード、コンパス、時計を忘れずに。

- 会場から出るところで、ナンバーカード装着、E-カードの動作チェックを行います。
- 会場からスタート地区までは、配布地図による誘導となります。所要時間は約 30 分（約 1.5 キロ）です。
- 車の通る道路を通行します。安全に十分注意してください。
- スタート地区にウォーミングアップエリアはありません。途中の道で車と歩行者に注意して行ってください。
- スタート地区に給水所を設けます。
- 新歓クラスのスタートは場所・開設時間が一般クラスとは異なります。新歓クラスに参加する方（上級生・新生とも）は各大学の引率者（代表者）の指示に従ってください。



スタート地区

- スタート枠に入る前に、**アクティベートユニットにE-カードをセットし、ユニットのランプが点滅することを確認**してください。万一ランプが点滅しない場合、点滅が弱い場合、点灯のままの場合など異常が感じられるときは速やかに役員に申し出てください。予備のE-カードをお渡しします。
- 時刻表示が自分のスタート時刻の3分前（時計は実際の時刻を表示しています）になりましたらスタートゲートに進み、役員にE-カードを提示してチェックを受けてからゲートに入ってください。名前の呼出しはしません。
- 次のブザーで1つ前の2分前枠に進んでください。
ここで希望者は各自で位置説明表をお取りください。
地図に位置説明は印刷されています
- 次のブザーでさらに1つ前の1分前枠に進み、自分のクラスの地図を1枚取ってください。他のクラスの地図を取ると失格になるので十分注意してください。**この時点ではまだ地図は見ないでください。**
スタート枠最前列のスタートユニットの前に進んでください。どのスタートユニットを使用しても構いません。

スタート

- スタート 10 秒前のブザーで、E-カードをスタートユニットにはめてください。
- スタートのブザーと同時にE-カードをユニットから離し、スタート！
- デフアスリート向けに下図のようなスタートのタイミングを光で知らせるスタートチャイマーを設置します。
- E-カードをユニットから離すと同時に計時が始まります（リフトアップスタート方式）。
- スタート後、地図上の△までは赤白の誘導テープに従ってください。誘導テープの終りにあるフラッグが地図上の△です。
- スタート時刻に遅れた競技者は、遅刻枠の役員に申し出て、その指示に従ってください。タイムは正規のスタート指定時刻より計測し、正規タイムとして扱います。
- スタート閉鎖は 12:30 とし、閉鎖後のスタートは認めません。



光るスタートチャイマー

競 技

- コントロールに到着したらコントロール番号を確認の上、E-カードをユニットにセットしてください。
- 間違ったコントロールにセットした場合はそのまま次に正しいコントロールにセットすれば OK です。
- 機材の不調で電子的なデータを取得できない場合は、バックアップラベルで完走判定をします。
- バックアップラベルを紛失しても失格にはなりません、上記の判定が不可能なため失格になる場合があります。

フィニッシュおよびE-カードの読取り

- 最終コントロールからフィニッシュまでは赤白色の誘導テープに従ってください。
- パンチングフィニッシュです。フィニッシュでユニットにE-カードをセットした時刻がフィニッシュ時刻となります。フィニッシュにある複数のユニットのどれにセットしても OK です。
- 競技中にE-カードを紛失した場合には、フィニッシュの係員に申し出てください。
- フィニッシュは 15:00 に閉鎖し、以後の計時は行いません。同時にコントロールフラッグの撤収を開始します。すべての競技者は 15:00 までにフィニッシュを通過してください。競技途中の競技者も 15:00 のフィニッシュ閉鎖に間に合わないとは判断した場合は直ちに競技を中止しフィニッシュに向かってください。
- E-カードの読取りはフィニッシュから会場までの途中にある読取所で行います。読取所を通らずに帰宅すると行方不明者扱いになりますので不通過は厳禁です。万が一、棄権してフィニッシュを通過しない場合は速やかに本部にその旨を申告してください。
- フィニッシュから読取所までは、フィニッシュ地区に設置した看板により誘導します。読取所から会場までは、読取所に掲示した地図を参照して移動してください。
- フィニッシュ／読取所では地図の回収を行いません。誘導路上および会場では地図を内側に折り、未出走者の目に触れないよう配慮をお願いします。
- レンタル E-カードは読取所で回収します。なお、計時トラブルがあった場合、個人所有の E-カードを一時お預かりすることがあります。この場合、E-カードは会場の本部でお返しします。
- 読取所に給水所を設けます。
- すべてのクレームは本部備え付けの専用紙でのみ受け付けます。回答は公式掲示板に掲示します。

調査依頼と提訴

- 競技に関して疑義が生じたときの調査依頼は本部備え付けの所定の用紙で本部に提出してください。
- 調査依頼に対する回答が不服の場合、提訴することができます。回答が出されてから原則 15 分以内に本部備え付けの用紙で提出してください。

裁定委員

- 大会会場の公式掲示板に表示します。

成 績

- 速報掲示は行いません。「Lap Center」でご確認ください。会場に QR コードを掲示します。

<https://mulka2.com/lapcenter/index.jsp>

●成績表、ラップ解析結果は大会ホームページで公開します。

本大会では成績処理のアプリケーションに的場洋輔氏作成の Mulka 2 を使用しています。

詳しくは、<http://www2s.biglobe.ne.jp/~matoba/public/olk/index.htm>

写真撮影について

主催者が、競技中も撮影をいたします。あらかじめご承知の上、ご参加ください。これらの写真・映像を、報告書や今後の広報活動に使用する場合があります。

表 彰

13:30頃からJMEは10位まで、その他のジュニアクラスは3位まで表彰いたします。参加者全員で栄誉を称えましょう。一般クラスおよび新歓クラスの表彰は行いませんが、一般クラスの上位3位まで本部にて賞品をお渡しします。JME、JWEの優勝者には長佐古杯が授与されます。

販売地図について

申込み時にご注文いただいた方のみ、12時半頃から本部受付にてお渡しします。当日の販売は行いません。欠席者地図の配布は当日限りで13時頃の開始を予定しています。同じクラブの方、引き取りをお願いします。

緊急対応事項

- 大会中止について 荒天等により、参加者の安全を確保できないと判断した場合、大会を中止します。この場合、参加費の返金はいませんのでご了承ください。大会を中止する場合は、多摩オリエンテーリングクラブのホームページ <http://www.orienteering.com/~tama> で午前6時頃までにご案内します。
- けが等の責任・処置 参加者の不注意または故意によって生じたケガ、または第三者に与えた損害は参加者の責任となりますので、十分注意して行動されるようお願いいたします。健康保険証をご持参ください。主催者は会場で応急処置をいたしますが、それ以上の処置はできません。主催者側でスポーツ傷害保険に加入しています。
- 体調不良時の棄権 体調が思わしくないときの出走はやめましょう。具合が悪くなった場合はレースの途中でもやめる勇気を持ってください。
- 問合せ先 E-mail : tamajc@googlegroups.com

大会役員

大会会長	宇野 浩一 (多摩オリエンテーリングクラブ会長)
実行委員長	平木 達也
競技責任者	三野 隆志
コースプランナー	宇野 浩一
イベントアドバイザー	高橋 厚
渉外	児玉 拓 平木 達也
地図修正調査	宇野 浩一 山田 一善
プログラム編集	平木 達也
運営役員 (上記以外)	浅沼英博 荒井正敏 宇野明子 梅林正治 大町宏志 加藤昭次 菊澤恵三
菅原 琢 鈴木清美 鈴木恒久 鈴木規弘 鈴木博実 友田賢吾 藤平正敏 松山雅彦 三森弘満	
Vetter Joerg Tachiana Savchenko	
小野賢二 (東京都協会) 高村卓 高村陽子 仁多見剛 山下大樹 (上尾OLC) 大井 真 遠藤陽太 (杏友会)	

長佐古杯について

オリエンティアとして非凡な才能を持ちながら1984年7月に22才の若さで他界した長佐古哲也君は、多摩OLが永遠の課題として持ち続けているジュニア育成の中から育った逸材でありました。第2回大会(1980)では実行委員長もつとめました。中学生で始めたOLは高校・大学と進むに従い着実にエリートランナーとして力をつけていました。しかし東京農工大在学中に発病し、8ヶ月余りの激しい闘病生活の末、ご両親・ご家族・友人・仲間等多くの人たちの願いもむなく深い悲しみと多くの尽きせぬ思い出を残して突然去ってしまいました。

その訃報は多摩OL・東京農工大OLCほかたくさん仲間たちにとって信じられない事でした。哲也君は世田谷に生まれ、お父上の転勤について札幌、神戸と移り住み、世田谷用賀中・新宿高・東京農工大と進み、OLをこよなく愛しました。いつの時でも一生懸命生きた哲也君の鎮魂を願い、多摩OLジュニアチャンピオン大会に1991年の開催から長佐古杯を設けました。JMEとJWEに与えられるカップは、長佐古家よりOL発展のためにとご寄贈いただいたものを基金として運用、その賞に充当しております。多摩OLでは不世出のエリートランナー哲也君に続くオリエンティアの育成を念じ、質の高い大会を提供してまいります。

歴代ジュニアチャンピオン一覧

大会	開催日	地図名	JME 優勝者		JWE 優勝者	
第1回	1978.4.2	美根	村越 真	(トータス)	長田 由紀	(東京OL)
第2回	1980.4.2	物見塚	宮川 達哉	(早大学院)	松井 忍	(江北高)
第3回	1983.4.24	狭山嶺	井上 浩之	(浦和高)	佐藤 恵美	(水戸OL)
第4回	1986.9.28	塩船観音	大江 桜麻	(桐朋高)	田島 利佳	(南高麗中)
第5回	1987.10.11	青梅坂	鹿島田 浩二	(桐朋高)	田島 利佳	(みちの会)
第6回	1988.10.2	塩船観音	永田 芳樹	(桐朋高)	田島 利佳	(みちの会)
第7回	1989.10.1	滝山城趾	一瀬 建日	(麻布学園)	志村 聡子	(川和高)
第8回	1991.1.20	霞丘陵	諏訪 高典	(麻布学園)	中込 裕子	(国分寺高)
第9回	1992.1.19	狭山嶺Ⅱ	加藤 裕	(東農大三高)	金木 愛加	(梅田OLC)
第10回	1993.1.17	滝山城趾Ⅱ	石澤 俊崇	(早稲田実業)	酒井 さつき	(オオムラサキ)
第11回	1994.1.23	草花丘陵	榎本 和弘	(麻布学園)	酒井 さつき	(練馬区)
第12回	1995.1.03	小金井公園	稲田 丈朗	(麻布学園)	石川 綾	(桃山高校)
第13回	1996.1.21	七国峠	稲田 丈朗	(麻布学園)	高橋 ひとみ	(東京高専)
第14回	1997.1.19	狭山嶺 ver4	玉置 俊光	(桐朋学園)	達富 睦	(亀岡OC)
第15回	1998.1.18	草花丘陵	積雪により中止			
第16回	1999.1.24	滝山城趾	纓坂 尚	(桐朋学園)	渡邊 信枝	(新宿高校陸上部)
第17回	2000.1.23	今井城趾	山田 高志	(桐朋学園)	参加者なし	
第18回	2001.1.21	今井城址	山田 高志	(桐朋学園)	渡邊 信枝	(小平OLK)
第19回	2002.1.20	平井	山田 高志	(桐朋学園)	渡邊 久美	(実践学園高)
第20回	2003.1.19	今井城址	柴本 浩児	(桐朋IK)	渡邊 久美	(実践学園高)
第21回	2004.1.18	滝山城址	斉藤 翔太	(桐朋IK)	渡邊 久美	(実践学園高)
第22回	2005.1.23	平井 2005	宇野 夏樹	(武相OLK)	高野 美春	(入間市OLC)
第23回	2006.1.22	滝山城址 2006	宇野 夏樹	(武相OLK)	高野 美春	(入間市OLC)
第24回	2007.1.21	日和田山 2007	宇野 夏樹	(武相OLK)	宮川 早穂	(ES関東C)
第25回	2008.1.20	七国峠 2008	山崎 純	(桐朋IK)	藤田 雲母	(岐阜OLC)
第26回	2009.1.18	滝山城址 2009	尾崎 弘和	(麻布学園OLK)	宮川 早穂	(ES関東C)
第27回	2010.1.24	七国峠 2010	深田 恒	(東海高校)	宮川 早穂	(ES関東C)
第28回	2011.1.23	平井 2011	深田 恒	(東海高校)	宮川 早穂	(ES関東C)
第29回	2012.1.22	七国峠 2012	角田 貴大	(東海高校)	参加者なし	
第30回	2013.1.20	滝山城址 2013	角田 貴大	(東海高校)	山岸 夏希	(公文国際学園)
第31回	2014.1.19	七国峠 2014	稲森 剛	(東海高校)	山岸 夏希	(公文国際学園)
第32回	2015.1.18	平井 2015	大石 洋輔	(桐朋IK)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第33回	2016.1.24	滝山城址 2016	大石 洋輔	(桐朋IK)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第34回	2017.1.22	七国峠 2017	折橋 旺	(麻布学園)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第35回	2018.1.21	平井 2018	森清 星也	(東海高校)	吉田 菜々子	(都立戸山高校)
第36回	2019.1.20	七国峠 2019	寺嶋 謙一郎	(ES関東C)	落合 英那	(OLCルーパー)
第37回	2020.2.2	滝山城址	福室 凜	(麻布学園OLK)	落合 英那	(OLCルーパー)
第38回	2021.4.18	七国峠 2021	寺嶋 謙一郎	(ES関東C)	完走者なし	
第39回	2022.4.17	七国峠 2022	梶本 和	(県立千葉高校)	山本 美沙	(渋谷で走る会)
第40回	2023.4.16	七国峠 2023	小林 透哉	(麻布高校)	石井 柚花	(OLP兵庫)
第41回	2024.4.21	七国峠 2024	平田 海星	(県立浦和高校)	大野 知沙子	(ES関東C)
第42回	2025.4.20	七国峠 2025	?		?	

競技に関する一般的な注意事項

比較的初級者の割合が高いイベントですので、あらためて注意喚起いたします。熟読をお願いします。

また、保護者の方、新入生指導にあたる上級生の皆さん、指導を宜しくお願いいたします。

●競技時間を超えての競技続行は認めておりません。

スタート後、本大会では150分を経過した場合、超過の可能性が高いと判断した場合は速やかにゴールに向かってください。これは参加者の義務です。

●一旦スタートしたら必ずフィニッシュおよび読取所を通過してください。

カードを読み取りませんと「行方不明者」扱いとなります。

カードを紛失した場合はフィニッシュおよび読取所でその旨を申告してください。無断帰宅は厳禁です。

●正しく E-カードをアクティベートしてください。

会場およびスタート地区（枠の前）でカードのアクティベート（始動）を必ず行ってください。ユニットのランプが**数回・一定間隔**で点滅したことを必ず自分の目で確認し、不具合があったら役員に速やかに申告してください。

●正しくスタートしてください。

スタートでは係員の指示に従い、スタート10秒前にカードをユニットにセットし、**スタートの合図と同時に**ユニットからカードを離してください。

●タイム計時機器の不具合の可能性について

大会に使用するすべての機器は前日までに複数回のチェックをしておりますが、経年劣化もあり、直前の不調・競技中の不調で完走したことが電氣的に確認できない事例が散見されます。（個人所有のカードでも不具合発生が散見されます）

自衛策として、**バックアップラベルに打痕が確実に残るようパンチを**してください。電氣的にコントロールの通過が確認できない場合、バックアップラベルの打痕の有無で通過判定を行います。

●ラベルの脱落防止：ラベルを紛失すると打痕確認による救済ができませんので、競技中にラベルが脱落しないようラベルの端を小さく切ったビニールテープでとめる等の対策を推奨します。ただし、補強が原因で打痕が確認できないと本末転倒ですので補強範囲には留意願います。

●正しくパンチしてください。

コントロールに到着したらユニット番号を確認の上、バックアップラベル面を下側にして、カードをユニットと平行になるまで埋め込んでください。正しくセットするとユニットの突起物によりラベルに打痕が残ります。カードが斜めの状態ではラベルに打痕残りません。（それほど強く押し込む必要はありません、**カードがユニットに対し平行になるまで押す**、を意識してください） ※ユニットの構造は会場でカード動作チェックを行う際に確認してください。

●カードを紛失しないために

カードを紛失した場合は失格となり、弁償金も発生します。心配な方はカードをゴム紐で手首に繋ぐ等の工夫をしてください。



●カード

表面

つるつとした面が表面です。

裏面

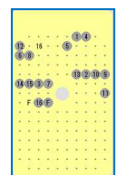
小さな穴がたくさんあいているのが裏面です

裏面にラベルをはめた状態



●バックアップラベル

カードの裏面に挟み込みます。脱落しないように端をテープ等で止めると安心です。正しくユニットにセットすると1箇所につき1つの打痕（穴）が残ります。



打痕の例

●ラベル補強（脱落防止）例
テープを小さく切ってラベルの端に貼り付けます。



●ユニットへのセット方法

カードがかすかにユニットに接触する程度でも、通常は電氣的な記録が残りますが、機材不具合時の完走判定はバックアップ用のラベルで行いますのでラベルに打痕が残るようにカードをしっかりとセットしてください。



カードの裏面（ラベル側）を下側にして、②の部分ユニットの①の部分に斜めに押し当て、②を支点に③を下方向に押し下げます。



●番号確認をお忘れなく

地図の位置説明に表示されている番号と、ユニットに表示されている番号が一致していることを確認してからパンチしてください。

3	33	○		○
4	34	↗	↘	Y
5	37	↖		↑
6	38	●		○
7	39	←	↗	↘

5番コントロールに着いたらユニットの番号が37であることを確認してからパンチ（カードをユニットにセット）

協賛者広告



**アドベンチャーレーサーが創る、
藪漕ぎ用ゲイター、レガースと
0フラッグアクセサリのお店**

KATANA
Adventure



キーホルダー等に
クラブ名や大会名を
入れることも可能です。
学割、数量割引有り。



オリジナルサムリストコンパス



KanPasコンパス



MTBマップ台

本気で藪を漕ぐアスリートたちを応援しています。
会場販売しますので是非お立ち寄りください。

カタナアドベンチャー 🔍

OLG OKUMUSASHINO

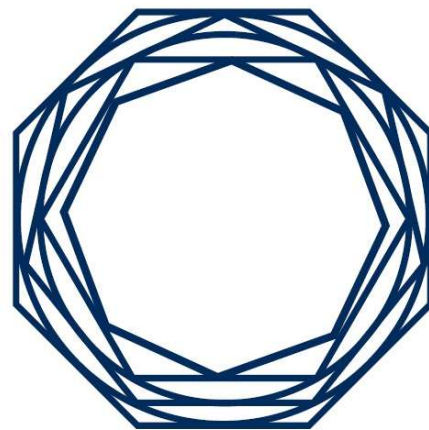
(Orienteering Goods & Info)

<http://www.OL-SHOP.COM>

OLG奥武蔵野は多摩ジュニアチャンピオン大会を応援します。
それはオリエンテアとしての基本的な素養が形成される一番大事な年代だからです。
フィンランドではクラブの大ベテランの選手がマンツーマンの指導をし
16歳でエリートへの道がほぼ決まります。

日本の指導的オリエンテア集団多摩オリエンテリングクラブの大会を通して
世界に羽ばたくジュニア選手が出るのを願望して微力ですが応援させていただきます。

OLG OKUMUSASHINOは、またオリエンテアのニーズに応えるべく
世界中から新しいOL用品や情報を貪欲な好奇心を持って収集、皆さまに提供します。



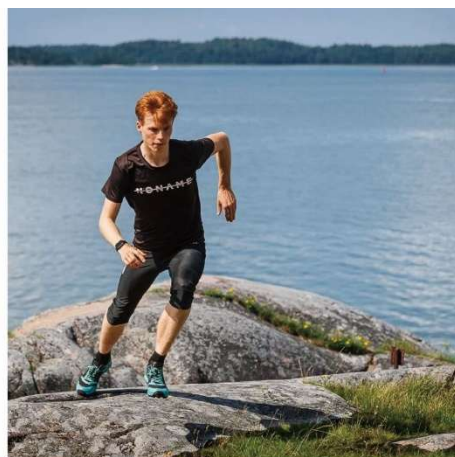
O-Ajari

går på tur



noname
barku

photo by noname Instagram



stro

**O-Support
Web shop**



第42回ジュニアチャンピオン大会の成功と
参加される皆様がリニューアルした七国峠
でオリエンテリングを楽しめることを
お祈りしています。

O-Support Web Shopは
ジュニアチャンピオン大会会場にて
出張販売を予定しています。
ぜひお立ち寄りください。

